

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

他年度の評価結果

[平成16年度評価結果](#)

福祉サービス第三者評価情報

評価結果ダイジェスト

▼全体の評価講評

▼サービス分析結果

▼利用者調査結果

▼事業者のコメント

平成17年度

身体障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	足立あかしあ園
評価機関名称	株式会社 インタラクティブ・マネジメント・サポート
評価者	修了者No.H0303015 修了者No.H0303002 修了者No.H0303012
評価実施期間	2005年10月1日～2006年3月15日

全体の評価講評

▶ 詳細はこちらから

💡特に良いと思う点

- 職員の能力向上に向けた優れた取り組み
- 柔軟な支援体制と自立に向けた取り組み
- プライバシーの保護の徹底

✔さらなる改善が望まれる点

- マニュアルの定期的な整備・点検
- 中・長期計画の策定
- 食事環境の改善

[このページの一番上へ](#)

サービス分析結果

▶ 詳細はこちらから

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A
【講評】 続きを見る	
● 利用者や家族の意向も踏まえて作成された個別支援計画に準じて日々の支援に取り組んで... ● 自立に向けての支援として、パワーポイントを使用し自立に必要な説明会(仕事を通して... ● 利用者との面接の機会や日々の活動の中で、他の利用者との摩擦等があった場合、原因や...	
2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 続きを見る	
● 当園では障害の程度によりグループ分けをしており、製袋・箱折り・ミシン・藍染・ブラ... ● 現在、他の入所施設ができあがるまでの期間限定で定員を増やして利用者を受け入れてい... ● 利用者の労働力に見合った工賃に連動させるほか、頑張ったときの評価をして意欲が湧く...	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】 続きを見る	
● 利用者に対して個別に聞くほか、職員からも希望のメニューを毎月聞いて、1年間を通じ... ● 食事はグループ毎に時間をずらして行なっています。職員が利用者の間に入り、刻みが必... ● 利用者は他の利用者やグループ以外の職員等とも楽しく会話しながら食事をしています。...	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
【講評】 続きを見る	
● 障害の程度によりグループ分けしているため、活動のペースや内容を利用者に合わせて行...	

- ・利用者にはできるだけ自分でできることは自分でできるよう声かけ等指導をしています。万...

5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

A

【講評】[続きを見る](#)

- ・利用者の健康に関しては看護師が中心となり他の職員との連携を図って支援する仕組みが...
- ・利用者の命を預かっているという共通理解・共通認識のもと、利用者の急な体調変化にも...
- ・服薬の管理については、原則として本人が服用することを基本としていますが、飲んだか...

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

A

【講評】[続きを見る](#)

- ・利用者による旅行委員会が自ら企画立案して、グループ毎の旅行や外出を実施しています...
- ・園内での生活に関する約束や決まりごとについては、職員が補佐しながらできるだけ利用...
- ・園内は委託の清掃作業員が清掃をしており、常に清潔に保たれています。トイレ内は臭気...

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

A

【講評】[続きを見る](#)

- ・家族等との交流や連携に際しては、利用者本人の意向を十分尊重した対応を取っています...
- ・家族との交流の手段としては、電話・広報誌「いっぽいっぽ」の定期的(隔月)発行・家...

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

A

【講評】[続きを見る](#)

- ・障害者支援の専門機関である足立区障害福祉センター「あしすと」から様々な情報を得て...
- ・地域の小中学校の音楽会・発表会・展示会等の行事へ積極的に参加しています。これらの...

評点の内容
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

利用者調査結果

▶ [詳細はこちら](#)

有効回答者数/利用者総数
27/53

1. 施設の中は安全に動けるようになっていきますか

はい	21人	どちらともいえない	1人	いいえ	3人	無回答・非該当	2人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

2. 食事はおいしいですか

はい	26人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

3. 仕事や活動は楽しいですか

はい	24人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	2人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

4. 職員はみんな同じようにあなたに対応してくれますか

はい	22人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	2人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

5. 職員は、丁寧(乱暴な言葉を使ったり、命令したり、呼び捨てにしない)に接してくれますか

はい	24人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

6. あなたの気持ちをわかってくれる(相談できる)職員がいますか

はい	20人	どちらともいえない	0人	いいえ	4人	無回答・非該当	3人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

7. あなたが困ったとき、施設の職員は助けてくれますか

はい	23人	どちらともいえない	1人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

8. 困ったことを外の人(第三者委員など)にも相談できますか

はい	10人	どちらともいえない	2人	いいえ	9人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

9. 工賃・給料の支払いのしくみは、わかりやすく説明されていますか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	7人	無回答・非該当	3人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

10.施設に、あなたが来る事を喜んでくれる仲間がいますか

はい	24人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

11.あなたの目標・計画について、いっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	4人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

12.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか

はい	2人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	1人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

13.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会（説明、掲示など）がありましたか

はい	2人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	1人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

14.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設の説明を聞いて、自分で施設を利用することを決めましたか

はい	2人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	1人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

15.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか

はい	19人	どちらともいえない	0人	いいえ	4人	無回答・非該当	4人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

16.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか

はい	21人	どちらともいえない	2人	いいえ	1人	無回答・非該当	3人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

[このページの一番上へ](#)

事業者のコメント

* 以下の項目は事業者によって、自ら更新される情報です。

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団
【問合せ】メールアドレス：fukushiit@fukushizaidan.jp 電話：03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

全体の評価講評

▼全体の評価講評

▼コメント

平成17年度

身体障害者通所授産施設〔経過措置〕

<<前の評価結果を見る

事業所名称	足立あかしあ園
評価機関名称	株式会社 インタラクティブ・マネジメント・サポート
評価者	修了者No.H0303015 修了者No.H0303002 修了者No.H0303012
評価実施期間	2005年10月1日～2006年3月15日

全体の評価講評

💡特に良いと思う点

● 職員の能力向上に向けた優れた取り組み

法人で定義されている職制上の役職者（園長、事務長、主任、副主任）とは別に「グループライダー」を任命し、グループ内の日々の処遇の責任を持たせています。副主任以上の役職者は、行動を見守りながら適宜アドバイスし、次期役職者として育てています。また、職員研修の仕組みが確立しています。園長が個々の面談で把握した希望に基づき個人別研修計画を作成していますが、施設内研修計画については研修委員会が作成して、職員全体で日程調整して受講させています。職員アンケートでも、研修が充実していて良い、という意見が数多く出されています。

● 柔軟な支援体制と自立に向けた取り組み

障害の程度によりグループ分けしているため、活動のペースや内容を利用者に合わせて行うことが可能です。職員も利用者の意向を最優先するよう努めており、登園時の様子や、作業準備をしていく会話の中で利用者の状態を把握し、その日の利用者への支援体制を柔軟に変えています。利用者にはできるだけ自分でできることは自分でするよう声かけ等指導をしています。万が一できないことがある場合は、自分から手を貸して欲しいと依頼するように促しています。利用者自身が他の人とのコミュニケーションの力をつけることにも有効と考えて取り組んでいます。

● プライバシーの保護の徹底

平成17年4月の「個人情報保護法」の施行と同時に、園として外部コンサルタントに依頼して職員研修会を開催し、プライバシーの保護の重要性についての共通理解が得られる取り組みを行うとともに、個人情報保護規程を作成し厳守しています。職員だけでなく実習生、ボランティア、出入り業者にも個人情報保護の必要性について説明を行い、誓約書に捺印を頂いています。利用者に対しては、他機関に利用者の個人情報を提供する場合に備えて事前に承諾書を頂いており、提供した情報と同一のものを渡すなど、個人情報の保護の徹底を図っています。

✓さらなる改善が望まれる点

● マニュアルの定期的な整備・点検

園内の業務に関して44項目に亘ってマニュアルが作成されており、提供しているサービスの基本事項や手順が明確化されています。実際に提供しているサービスが、定められた手順に沿っているかについては、随時分掌業務担当職員が点検・確認を行っていますが、日常業務が繁忙であり後手になり勝ちです。職員の自由記述にも「手引書はあるが・・・点検や見直しが出来ていない」「マニュアル整備・・・担当者が変わると初めからやり直す」という意見もありますので、時期を定めた定期的な整備・点検が望まれます。

● 中・長期計画の策定

年度単位の事業計画書を毎年2～3月に作成しています。短期の活動に関しても、「ふれあいフェスティバル」などの行事の際には、利用者も加わって委員会を組織し、計画的に取り組んでいます。しかし、理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画は策定していません。職員アンケートでは「園の目指す方向が分からない」「法人の目指す目的が分からない」という声があります。障害者自立支援法の成立により、事業予測が立て難い時期だからこそ、利用者や職員に対して3年後・5年後の園の在り方を示す中・長期計画の策定が望まれます。

● 食事環境の改善

食事メニューに関しては、利用者だけでなく職員からも希望を聞き、バラエティーに富んだメニューで提供しています。利用者は他の利用者やグループ以外の職員等とも楽しく会話しながら食事をしています。現在、BGM等は流していませんが、会話に差し支えない程度の音楽を流すことも検討されたら如何でしょうか。また、冬場は食堂の入り口付

近が寒いということで、暖房方法の改善が求められています。

[このページの一番上へ](#)

コメント

利用者調査は、園で選定頂いた利用者13名に対する「聞き取り調査」を基本としましたが、それ以外に比較的障害が軽い方を14名選定頂き、ご自身でアンケートにご記入頂きました。

また、「聞き取り調査」の合間に、調査員3名が利用者と職員との関わり合いを見守る「見守り調査」を実施し、園の特徴把握に努めました。

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団
【問合せ】メールアドレス: fukushiit@fukushizaidan.jp 電話: 03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

他年度の評価結果

[平成16年度評価結果](#)

福祉サービス第三者評価情報

組織マネジメント分析結果

- ▼リーダーシップと意思決定 ▼経営における社会的責任 ▼利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
▼計画の策定と着実な実行 ▼職員と組織の能力向上 ▼情報の保護・共有 ▼カテゴリ1～7に関する活動成果

平成17年度

身体障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	足立あかしあ園
評価機関名称	株式会社 インタラクティブ・マネジメント・サポート
事業評価実施期間	2006年1月16日～2006年3月15日

リーダーシップと意思決定

1. 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	評点
1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	A ⁺
2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	A ⁺
3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	A
【講評】 詳細はこちら - 法人の経営理念・経営ビジョン・基本方針と並んで、当園の目的・運営方針が園内の複数... - 役職者向けには「管理職十訓」、主任以下には「主任・副主任・リーダーの職務と任命」... - 重要な案件は、各グループ内で起案し、各種委員会の検討を経てグループリーダー会に提...	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

経営における社会的責任

1. 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	評点
1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	A
2. 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	A
3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている	A
2. 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	評点
1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	A ⁺
2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	A
3. 地域との関係機関との連携を図っている	A
【講評】 詳細はこちら - ボランティア研修会、養護学校、中学校などの総合学習の講師として、園長や主任が福祉... 「ボランティア・実習生受入委員会」が組織され、「日常ボランティア」「行事ボランテ... - 足立区内37の施設の共同受注団体である「障害者支援NPO法人」との共同受注体制が...	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1. 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	評点
1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	A
2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	A
3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	A
【講評】 詳細はこちら	

- 苦情解決の手続きや苦情解決委員の連絡先を顔写真入りで園内に掲示しています。また、...
- 試行段階から4回目となる第三者評価の利用者アンケート以外には、園独自では利用者ア...
- 地域の福祉ニーズは、学校の職場体験や、地域懇談会、地域少年協議会、足立区施設長会...

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

計画の策定と着実な実行

1. 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる	評点
1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	B
2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	A
3. 着実な計画の実行に取り組んでいる	A
2. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	評点
1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	A
【講評】 詳細はこちら ● 年度単位の事業計画書を毎年2～3月に作成しています。短期の活動に関しても、「ふれ... ● 事業計画書の策定にあたっては、職員が各グループ内で討議を重ね、リーダー会議を経て... ● 利用者の安全確保の向上のために、防火管理委員会、保健安全委員会が組織され、避難訓...	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

職員と組織の能力向上

1. 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	評点
1. 事業所にとって必要な人材構成にしている	A
2. 職員の質の向上に取り組んでいる	A ⁺
2. 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	評点
1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	A
2. 職員のやる気向上に取り組んでいる	A
【講評】 詳細はこちら ● 「足立あかしあ園禁止事項」「あなたの仕事の進め方」「支援・援助の基本原則及び遵守... ● 職員一人ひとりの能力向上に関する希望は園長が個々の面談で把握し、個人別の研修計画... ● 職員が判断を迷った場合には、グループリーダー/副主任/主任/園長に相談することが...	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

情報の保護・共有

1. 情報の保護・共有に取り組んでいる	評点
1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	A
2. 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している	A
【講評】 詳細はこちら ● 経営に関する情報及び利用者や職員に関する個人的な情報などは保管庫で管理しています... ● 「個人情報保護規程」を作成し、今年度の初めに法人の全職員に対して外部講師による研...	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

カテゴリー1～7に関する活動成果

1. 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A ⁺
【改善の成果】 詳細はこちら ● 園が目指していることを職員に周知させる施策の一環として、外部講師を月1回招き、「...	
2. 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	評点

1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A ⁺
【改善の成果】 詳細はこちら	
内外の研修に多くの職員が参加できる環境を整えています。月2回の全体研修のほかに、...	
3. 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A ⁺
【改善の成果】 詳細はこちら	
個人情報保護法の施行に伴い、年度初めに外部講師を招き、法人全体で個人情報保護法に...	
4. 前年度と比べ、事業所の財政面において向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している	A ⁺
【改善の成果】 詳細はこちら	
前年度と今年度の電力使用量の比較を月別の棒グラフで表示し、園内の各所に掲示して職...	
5. 前年度と比べ、利用者の意向や苦情対応の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している	B
【改善の成果】 詳細はこちら	
利用者や家族の意向を把握する努力は続けていますが、特に際立った改善傾向は確認でき...	
【講評】 詳細はこちら	
- 職員研修を更に充実させました。外部講師を月1回招き、「理念・ビジョン・事業計画の... - 個人情報保護法の施行に伴い、年度初めに外部講師を招き、法人全体で個人情報保護法に... - 前年度と今年度の電力使用量の比較を月別の棒グラフで表示し、園内の各所に掲示して職...	



[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価の見方
他年度の評価結果
平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

サービス分析結果

▼サービス提供のプロセス項目 ▼サービスの実施項目

平成17年度 身体障害者通所授産施設[経過措置]

[＜前の評価結果を見る＞](#)

事業所名称	足立あかしあ園
評価機関名称	株式会社 インタラクティブ・マネジメント・サポート
事業評価実施期間	2006年1月16日～2006年3月15日

サービス提供のプロセス項目

サービス情報の提供	評点
1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している	A
【講評】 詳細はこちら - 利用者に対する情報提供媒体としては、法人として隔月発行している広報誌「あかしあ」... - 広報誌や園便りは、利用者や家族のほか地元自治体や関係機関、町内会などに配布されて... - 利用希望者からの電話での問い合わせや見学の希望に対しては、原則として園長が対応し...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
サービスの開始・終了時の対応	評点
1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	A
2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A
【講評】 詳細はこちら - サービスの開始にあたり、利用者および家族に対して園長から、契約書、重要事項説明書... - 利用者の支援に必要な個別事情や要望は、個別支援計画書に記録されています。利用開始... - 利用者が在籍していた学校や福祉事務所から生活記録等の情報を入手して、支援方法や介...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
個別状況の把握・記録	評点
1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	A
2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している	A
3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	A
4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A
【講評】 詳細はこちら - 利用者の障害の程度に応じた3グループ別に個別支援計画書の様式が定められており、利... - 個別支援計画書は、入所時および毎年1月末に本人および家族と面談のうえ、その同意を... - 利用者1人ひとりの日常の作業状況や活動状況およびその変化については、生活記録とし...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	評点
1. 利用者のプライバシー保護を徹底している	A
2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A
【講評】 詳細はこちら - 利用者に関する個人情報を自治体、福祉施設、医療機関等に照会する場合に備えて、事前... - トイレ使用時は同性介助を徹底するとともにカーテンの二重化などで利用者の羞恥心に配... - 日常のサービスの実施に当たっては、利用者に対して抑制や強制を禁止しており、本人の...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
事業所業務の標準化	評点
1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	A
2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	A
3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	A
【講評】 詳細はこちら	

- 園として提供しているそれぞれのサービスの基本事項や手順等について、44項目のマニ...
- 提供しているサービスの基本事項や手順等の改変や見直しの基準については、特に明文化...
- 園運営委員会やグループリーダー会議等で全体の状況を把握し、朝礼や職員会議等で職員...

評点の内容
▶ 詳細はこちらから

[このページの一番上へ](#)

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A
【講評】詳細はこちら ● 利用者や家族の意向も踏まえて作成された個別支援計画に準じて日々の支援に取り組んで... ● 自立に向けての支援として、パワーポイントを使用し自立に必要な説明会(仕事を通して... ● 利用者との面接の機会や日々の活動の中で、他の利用者との摩擦等があった場合、原因や...	
2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】詳細はこちら ● 当園では障害の程度によりグループ分けをしており、製袋・箱折り・ミン・藍染・ブラ... ● 現在、他の入所施設ができあがるまでの期間限定で定員を増やして利用者を受け入れてい... ● 利用者の労働力に見合った工賃に連動させるほか、頑張ったときの評価をして意欲が湧く...	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】詳細はこちら ● 利用者に対して個別に聞くほか、職員からも希望のメニューを毎月聞いて、1年間を通じ... ● 食事はグループ毎に時間をずらして行なっています。職員が利用者の間に入り、刻みが必... ● 利用者は他の利用者やグループ以外の職員等とも楽しく会話しながら食事をしています。...	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
【講評】詳細はこちら ● 障害の程度によりグループ分けしているため、活動のペースや内容を利用者に合わせて行... ● 利用者にはできるだけ自分でできることは自分でできるよう声かけ等指導をしています。万...	
5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
【講評】詳細はこちら ● 利用者の健康に関しては看護師が中心となり他の職員との連携を図って支援する仕組みが... ● 利用者の命を預かっているという共通理解・共通認識のもと、利用者の急な体調変化にも... ● 服薬の管理については、原則として本人が服用することを基本としていますが、飲んだか...	
6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	A
【講評】詳細はこちら ● 利用者による旅行委員会が自ら企画立案して、グループ毎の旅行や外出を実施しています... ● 園内での生活に関する約束や決まりごとについては、職員が補佐しながらできるだけ利用... ● 園内は委託の清掃作業員が清掃しており、常に清潔に保たれています。トイレ内は臭気...	
7. 施設と家族等との交流・連携を図っている	A
【講評】詳細はこちら ● 家族等との交流や連携に際しては、利用者本人の意向を十分尊重した対応を取っています... ● 家族との交流の手段としては、電話・広報誌「いっばいっば」の定期的(隔月)発行・家...	
8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている	A
【講評】詳細はこちら ● 障害者支援の専門機関である足立区障害福祉センター「あしすと」から様々な情報を得て... ● 地域の小中学校の音楽会・発表会・展示会等の行事へ積極的に参加しています。これらの...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちらから	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

利用者調査結果

▼調査概要

▼調査結果全体のコメント

▼調査結果

平成17年度

身体障害者通所授産施設〔経過措置〕

<<前の評価結果を見る

事業所名称	足立あかしあ園
評価機関名称	株式会社 インタラクティブ・マネジメント・サポート
利用者調査実施期間	2006年1月27日～2006年2月21日

調査概要

- **調査対象:** 園には全数調査が原則であることとお話ししましたが、利用者の状態を考えて選定頂いた13名に「聞き取り調査」を行ないました。その他に、比較的障害が軽い方を14名選定頂き、ご自身でアンケートにご記入頂きました。
- **調査方法:** 調査は1日間で、評価者2名と調査員1名で「聞き取り調査」を行ないました。利用者ご自身で記入して頂いたアンケート用紙は、当日評価者が回収しました。
更に、利用者と職員との関わり合いを見守るための「見守り調査」を並行して実施しました。
- 利用者総数: 53人
- 共通評価項目による調査対象者数: 27人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数: 27人
- 利用者総数に対する回答者割合(%): 50.9%
- 調査項目: [共通評価項目](#)

このページの一覧上へ

調査結果全体のコメント

朝の受入時、職員は皆笑顔で出迎えており、利用者も笑顔で登園してきていました。また、利用者自ら職員に言葉かけや挨拶を交わし、コミュニケーションをとうとうとする姿も見られ、フレンドリーに接している姿が印象的でした。その光景が利用者調査の結果にも反映されており、職員の対応について満足度が高いことがうかがえます。総合的な感想では、とても良い、ややよいを含めると、良いと答えた利用者が81%となります。項目別では、「食事はおいしいですか」「仕事や活動は楽しいですか」「職員は丁寧に接してくれますか」「施設にはあなたが来ることを喜んでくれる仲間がいますか」などは90%の利用者が「はい」と答えており、園での楽しい状況がうかがえます。一方で、「困ったことを外の人(第三者委員など)にも相談できますか」「工賃・給料の支払の仕組みは分かりやすく説明されていますか」などは「はい」が70%以下となっています。また、不満や要望等を気軽に職員には伝えにくい、あるいは気を遣う等の声もありますので、更なる努力が期待されます。

このページの一覧上へ

調査結果

1.施設の中は安全に動けるようになっていきますか

はい	21人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	2人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
ほとんどの利用者が「はい」と答えています。「危ない思いは一度もありません」という声がある一方で「狭いのが気になる」「Aグループの部屋は人数が多いので狭い。後ろに動くときなど注意が必要」「怖いところがある」などの声もあります。

2.食事はおいしいですか

はい	26人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
ほとんどの利用者が「はい」と答えています。「個人の状態に合わせて給食を用意してくれるのでとても良いと思います」

「いつも美味しい」などの声があります。

3.仕事や活動は楽しいですか

はい	24人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	2人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

ほとんどの利用者が「はい」と答えています。「ものすごく楽しいです」「作りたいものを皆で相談して決めている」「3ヵ月ごとに色々な仕事を自分で選んでやれる」などの声がありますが、「時間が短か過ぎて達成感がない」「少し大変」「慣れていないのでやりにくい」などの声もあります。

4.職員はみんな同じようにあなたに対応してくれますか

はい	22人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	2人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「皆優しい」など、ほとんどの利用者が「はい」と答えています。しかし「厳しい時も優しいときもある」「難しい質問です」「職員による」「他の人がいるので、長くは接してくれない」などの声もありました。

5.職員は、丁寧(乱暴な言葉を使ったり、命令したり、呼び捨てにしない)に接してくれますか

はい	24人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

ほとんどの利用者が「はい」と答えました。

6.あなたの気持ちをわかってくれる(相談できる)職員がいますか

はい	20人	どちらともいえない	0人	いいえ	4人	無回答・非該当	3人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

概ね「はい」と答えています。「皆相談しやすい」「仕事や納品のことで困ったときに相談に乗ってくれる」という声があります。

7.あなたが困ったとき、施設の職員は助けてくれますか

はい	23人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

ほとんどの利用者が「はい」と答えています。「最初は自分で考えるが、どうしても出来ないとき、困っているときは助けてくれる」「いつも緊張が入ったときなどに助けてくれる」「個人的な計画のときにアドバイスをくれた」などの声がある一方で、「忙しくて来てくれないことがある。なるべく来て欲しい」「困ったときがないので分からない」などの声もあります。

8.困ったことを外の人(第三者委員など)にも相談できますか

はい	10人	どちらともいえない	0人	いいえ	9人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「自宅に来るヘルパーさんに相談している」「友達があります」「ボランティアさんに相談」などの声が多いようです。第三者委員に関しては「来て頂ければ相談できると思う」「委員の人が良く分からない」と言う声がありました。

9.工賃・給料の支払いのしくみは、わかりやすく説明されていますか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	7人	無回答・非該当	3人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

半数以上の利用者が理解していますが、「最初親に説明があったか、自分で聞いたかもしれないが覚えていない」「細かい説明はない」「詳しいことが分からない」など、よく理解していない方も少なからずおられます。

10.施設に、あなたが来る事を喜んでくれる仲間がいますか

はい	24人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

ほとんどの利用者が「はい」と答えています。

11.あなたの目標・計画について、いっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	4人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「1月の面接で職員と一緒に相談して目標を定めた。納得している」など半数以上の利用者が理解していますが、「分かり易く説明してもらっていない」「してもらったが覚えていない」などの声もありました。

12.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか

はい	2人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	1人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「実習のときなどに聞いた」という声がありました。

13.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会(説明、掲示など)がありましたか

はい	2人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	1人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
概ね理解されているようです。

14.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設の説明を聞いて、自分で施設を利用することを決めましたか

はい	2人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	1人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
「実習に行って選択肢が2つあったが自分で要望した」という声がありました。

15.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか

はい	19人	どちらともいえない	0人	いいえ	4人	無回答・非該当	4人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
「よく話をしているしている」など概ね「はい」と答えています。一方で「言いにくい。家で親には話している」「できる時もあるし、できない時もある」「言いづらい」などの声もありました。

16.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか

はい	21人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	3人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
ほとんどの利用者が「はい」と答えていますが、「職員も忙しいので忘れる事もある」「自分は言わないし、他の人の事もよく見ている訳ではないので分からない」という声もありました。

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評価の見方

他年度の評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

リーダーシップと意思決定

講評

法人の経営理念・経営ビジョン・基本方針と並んで、当園の目的・運営方針が園内の複数個所に掲示されています。更にこれらの情報はホームページ、パンフレット、事業計画書などにも明示されています。園が目指すことについては、年度初めに職員全員で読み合わせを行うと共に、外部講師を招いて「理念・ビジョン・事業計画の策定」のテーマで受講しています。これを基に、園の理念・ビジョンの見直しも計画されています。利用者に対しては年4回の全体保護者会で事業計画書を配布して説明しています。

役職者向けには「管理職十訓」、主任以下には「主任・副主任・リーダーの職務と任命」を作成し、各々の役割と責任を周知しています。法人で定義されている職制上の役職者（園長、事務長、主任、副主任）とは別に、「グループリーダー」を任命しています。「グループリーダー」にはグループ内の日々の処遇の責任を持たせています。副主任以上の役職者は、行動を見守りながら適宜アドバイスし、次期役職者として育てています。

重要な案件は、各グループ内で起案し、各種委員会の検討を経てグループリーダー会に提案され、園長・事務長・主任・副主任・看護師で構成する運営委員会が最終決定しています。決定された案件は、職員会議や朝礼などで説明して周知しています。また、運営委員会等の議事録は非常勤職員も閲覧可能です。利用者に対する説明は、グループリーダー、副主任、主任、園長などが説明していますが、コミュニケーションが難しい利用者の場合は、家族に説明しています。

[このページの一覧上へ](#)

1-1-1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している

評価点	A ⁺
標準項目	☐ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
	☐ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	☐ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	☐ 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
A+の取り組み	事業所が目指していることを職員に周知させる施策の一環として、外部講師を月1回招き、「理念・ビジョン・事業計画の策定」というテーマで既に3回受講しています。これを基に理念・ビジョンの見直しも計画されています。

1-1-2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

評価点	A ⁺
標準項目	☐ 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
	☐ 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
A+の取り組み	法人で定義されている職制上の役職者（園長、事務長、主任、副主任）とは別に、「グループリーダー」を任命しています。「グループリーダー」にはグループ内の日々の処遇の責任を持たせています。副主任以上の役職者は、行動を見守りながら適宜アドバイスし、次期役職者として育てています。

1-1-3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評価点	A
標準項目	☐ 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている
	☐ 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	☐ 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
A+の取り組み	

[このページの一覧上へ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価の見方
他年度の評価結果
平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

経営における社会的責任

講 評

ボランティア研修会、養護学校、中学校などの総合学習の講師として、園長や主任が福祉の話をしています。近隣の5つの小中学校の「開かれた学校づくり協議会」に委員として園長が関わっていると共に、職場体験先として毎年多くの生徒を受け入れています。更に、年3回行なわれる近隣の小中学校の「朝の挨拶運動週間」に職員全員が毎日4名ずつ参加して支援しています。

「ボランティア・実習生受入委員会」が組織され、「日常ボランティア」「行事ボランティア」「宿泊ボランティア」など多くのボランティアを受け入れています。ボランティアを単なるお手伝いということではなく、相互にメリットを生み出せる「ビジネスパートナー」と位置づけています。受け入れに関するマニュアルも整備し、データ管理も行っています。個人情報保護法については、年度初め又は初回に説明を行い、プライバシー保護に努めるよう誓約書に押印してもらっています。

足立区内37の施設の共同受注団体である「障害者支援NPO法人」との共同受注体制が定着しています。この団体は平成11年に当園の園長を中心に立ち上げており、現在も主任が役員として関わっています。その他に足立区相互研修会、地域の自治会集会などに役職者が参加して地域とのネットワーク作りに努めています。

[このページの一番上へ](#)

2-1-1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している

評点	A
標準項目	福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などを明示している 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などの理解が深まるように取り組んでいる
A+の取り組み	

2-1-2. 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている

評点	A
標準項目	第三者評価・外部監査の実施など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法（事業者便り・会報など）で地域社会に事業所に関する情報を開示している
A+の取り組み	

2-1-3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている

評点	A
標準項目	実習生の受け入れに対する基本方針・取り組み体制を明確にしている 効果的な実習ができるよう計画的なプログラムを用意している
A+の取り組み	

2-2-1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

評点	A+
標準項目	事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している（施設・備品等の開放、個別相談など） 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動（研修会の開催、講師派遣など）を行っている
A+の取り組み	近隣の5つの小中学校の「開かれた学校づくり協議会」に委員として園長が関わっていると共に、職場体験先として毎年多くの生徒を受け入れています。更に、年3回行なわれる近隣の小中学校の「朝の挨拶運動週間」に職員全員が毎日4名ずつ参加して支援しています。

2-2-2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点	A
----	---

標準項目	○	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している
	○	ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)
	○	ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている
A+の取り組み		

2-2-3. 地域の関係機関との連携を図っている

評点	A	
標準項目	○	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している
	○	地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

講評

苦情解決の手続きや苦情解決委員の連絡先を顔写真入りで園内に掲示しています。また、年度初めに事業計画書を配布する際に、計画書の中に記述された苦情解決に関する事項を利用者に説明しています。利用者一人ひとりの意見・要望・苦情は、職員が個別に把握して対応していますが、必要に応じて園長が相談に乗り対応しています。

試行段階から4回目となる第三者評価の利用者アンケート以外には、園独自では利用者アンケートは実施していませんが、年度の初めに、個々の利用者と面談し、意向を確認しています。仕事に関しては、義務付けることなく利用者の意思を尊重して選択してもらっています。

地域の福祉ニーズは、学校の職場体験や、地域懇談会、地域少年協議会、足立区施設長会議などとの交流の中で意見交換を行なって収集しています。福祉事業全体の動向に関しては、主に園長が東京都、東京都社会福祉協議会、全国社会福祉協議会などからいち早く情報を収集して対応しています。

[このページの一番上へ](#)

3-1-1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点	A	
標準項目		苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
		利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
A+の取り組み		

3-1-2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点	A	
標準項目		利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
		事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
		利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
A+の取り組み		

3-1-3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点	A	
標準項目		地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
		福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
		事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

計画の策定と着実な実行

講評

年度単位の事業計画書を毎年2～3月に作成しています。短期の活動に関しても、「ふれあいフェスティバル」などの行事の際には、利用者も加わって委員会を組織し、計画的に取り組んでいます。しかし、理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画は策定していません。障害者自立支援法の成立により、事業予測が立て難い時期だからこそ、利用者や職員に対して3年後・5年後の園の在り方を示す中・長期計画の策定が望まれます。

事業計画書の策定にあたっては、職員が各グループ内で討議を重ね、リーダー会議を経て運営委員会で決定しています。決定後は、職員会議で内容を説明の上、職員全員に周知しています。計画の策定に際しては、グループ毎に前年度を振り返って予算調整をする際に、園長、事務長がアドバイスしています。計画的に取り組んでいる好例として、園内の省エネ活動があります。前年度と今年度の電力使用量の比較を月別の棒グラフで表示し、園内の各所に掲示して職員の省エネ意識を高め、経費削減を実現しています。

利用者の安全確保の向上のために、防火管理委員会、保健安全委員会が組織され、避難訓練や利用者の健康管理などを行なっています。発生した事故に関しては「事象報告書」に原因と対応策を記述し、それを基に報告書を作成して家族に送ると共に、職員には朝礼で周知しています。現在外部講師を招き、「リスクマネジメントシステム」を構築中で、事故につながりやすい事例などを基に再発防止できる仕組みを策定中です。

[このページの一番上へ](#)

4-1-1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点	B
標準項目	✕ 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している ○ 年度単位の計画を策定している ○ 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
A+の取り組み	

4-1-2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点	A
標準項目	○ 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている ○ 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている ○ 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)をふまえて策定している ○ 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)をふまえて策定している
A+の取り組み	

4-1-3. 着実な計画の実行に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している ○ 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている ○ 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している ○ 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる
A+の取り組み	

4-2-1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している ○ 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している
A+の取り組み	

		再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 [\(財\)東京都高齢者研究・福祉振興財団](#)
【問合せ】メールアドレス:fukushiit@fukushizaidan.jp 電話:03-5206-8733

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

職員と組織の能力向上

講 評

「足立あかしあ園禁止事項」「あなたの仕事の進め方」「支援・援助の基本原則及び遵守すべき事項」などの資料を使用して、足立あかしあ園の求める職員像を職員に知らしめています。法人全体で新人事考課制度が来年度から採用されるということで、当園でも試行が行なわれています。職員自由記述では、考課制度や研修体制などに関する法人としての足並みの乱れを危惧する声が多ならずあります。

職員一人ひとりの能力向上に関する希望は園長が個々の面談で把握し、個人別の研修計画を作成して相応しい研修を受けさせる仕組みができています。また、施設内研修計画は研修委員会が作成し、職員が研修に参加しやすいように、職員全体で日程調整しています。職員アンケートでも、研修が充実していて良い、という意見が数多く出されています。

職員が判断を迷った場合には、グループリーダー/副主任/主任/園長に相談することが周知されています。個人別研修とは別に、職員研修会が月2回開催されています。1回は職員間での研修会、1回は外部講師を招いての研修会です。職員会議では、できるだけ全員が発言できるような工夫をするなど、研修以外にも様々な学びの機会を与えています。

[このページの一番上へ](#)

5-1-1. 事業所にとって必要な人材構成にしている

評点	A
標準項目	○ 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している ○ 事業所が必要とする人材をふまえた採用を行っている ○ 適材適所の人員配置に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-1-2. 職員の質の向上に取り組んでいる

評点	A+
標準項目	○ 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している ○ 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している ○ 個人別の育成(研修)計画をふまえ、OJTや研修を行っている ○ 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している ○ 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している
A+の取り組み	園長が個別に面談して職員の希望を聞き、個別研修計画を作成して希望に沿った研修を受けさせています。また、「研修委員会」が施設内研修計画を作成し、研修を受け易くするための日程調整も行なっています。これらの個別研修とは別に、職員研修会を毎月2回(1回は職員間で、1回は外部講師を招いて)を行なうなど、充実した研修体制を整えています。

5-2-1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している ○ 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる ○ 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-2-2. 職員のやる気向上に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 事業所の特性をふまえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている ○ 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる

	○	職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる
	○	福利厚生制度の充実に取り組んでいる
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 [\(財\)東京都高齢者研究・福祉振興財団](#)
【問合せ】メールアドレス: fukushiit@fukushizaidan.jp 電話: 03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

他年度の評価結果

[平成16年度評価結果](#)

福祉サービス第三者評価情報

情報の保護・共有

講 評

経営に関する情報及び利用者や職員に関する個人的な情報などは保管庫で管理していますが、施錠はされていません。利用者に関する情報は、全ての職員が活用できるように整理して保管されています。保管している利用者や職員に関する情報は、タイムリーに更新されています。

「個人情報保護規程」を作成し、今年度の初めに法人の全職員に対して外部講師による研修会を実施し、周知を図りました。圖で扱う個人情報の利用目的や、開示請求に対する対応方法等について、「個人情報保護規程」に明示されています。職員だけでなく、実習生、ボランティア、外注先などに対しても、「個人情報保護規程」の趣旨を説明し、誓約書に署名してもらっています。

[このページの一番上へ](#)

7-1-1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点	A
標準項目	☐ 情報の重要性や機密性をふまえ、アクセス権限を設定している
	☐ 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している
	☐ 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している
A+の取り組み	

7-1-2. 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している

評点	A
標準項目	☐ 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している
	☐ 個人情報の保護に関する規定を明示している
	☐ 開示請求に対する対応方法を明示している
	☐ 個人情報の保護について職員（実習生やボランティアを含む）が理解し行動できるための取り組みを行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

カテゴリー1～7に関する活動成果

講評

職員研修を更に充実させました。外部講師を月1回招き、「理念・ビジョン・事業計画の策定」というテーマで受講しており、これを基に理念・ビジョンの見直しも計画されています。職員アンケートでも、研修が充実していて良い、という声が多数寄せられています。

個人情報保護法の施行に伴い、年度初めに外部講師を招き、法人全体で個人情報保護法に関するセミナーを受講すると共に、「個人情報保護規程」を整備しました。職員だけでなく、ボランティア、実習生、外注先にも趣旨を説明し、誓約書もらっています。

前年度と今年度の電力使用量の比較を月別の棒グラフで表示し、園内の各所に掲示して職員の省エネ意識を高め、経費削減を実現しました。課題を設定し、計画的に物事に取り組むことが実践されています。

[このページの一番上へ](#)

8-1-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

評点	A ⁺
改善の成果	園が目指していることを職員に周知させる施策の一環として、外部講師を月1回招き、「理念・ビジョン・事業計画の策定」というテーマで既に3回受講しています。職員は毎回ほぼ全員が出席しており、意識の高まりが確認できます。これを基に理念・ビジョンの見直しも計画されています。

[このページの一番上へ](#)

8-2-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

評点	A ⁺
改善の成果	内外の研修に多くの職員が参加できる環境を整えています。月2回の全体研修のほかに、自ら進んで外部研修を受けたいと希望する職員もあり、できる限り日程調整して受講させています。職員アンケートでも、多くの職員が研修の充実振りを良い点としてあげています。来年度から始まる新しい人事考課制度に関する研修も行なわれています。

[このページの一番上へ](#)

8-3-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

評点	A ⁺
改善の成果	個人情報保護法の施行に伴い、年度初めに外部講師を招き、法人全体で個人情報保護法に関するセミナーを受講すると共に、「個人情報保護規程」を整備しました。

[このページの一番上へ](#)

8-4-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している

評点	A ⁺
改善の成果	前年度と今年度の電力使用量の比較を月別の棒グラフで表示し、園内の各所に掲示して職員の省エネ意識を高め、経費削減を実現しました。

8-5-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意識や地域・事業環境などの把握」

評点	B
改善の成果	利用者や家族の意向を把握する努力は続けていますが、特に際立った改善傾向は確認できていません。

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報



サービス情報の提供

講 評

利用者に対する情報提供媒体としては、法人として隔月発行している広報誌「あかしあ」、園便りとして独自に隔月発行している「いっぽいっぽ」のほかパンフレット、ホームページなどが用意されています。ホームページは、同一法人内の他の身体障害者通所授産施設で運営管理されており、随時内容が更新されています。広報誌や園便りは、ルビをふったり写真を掲載して、障害の重い利用者でも理解しやすいよう工夫されています。

広報誌や園便りは、利用者や家族のほか地元自治体や関係機関、町内会などに配布されています。町内会などには利用者が直接届けています。足立区とは隔月に定例会を開催しており、区からの借り上げバスの利用方法や障害者自立支援法などについて常時情報交換を行っています。

利用希望者からの電話での問い合わせや見学の希望に対しては、原則として園長が対応しています。養護学校の卒業間近の生徒や家族からの要望が多いようです。利用希望者に対して、園についての理解を深めてもらうために、授産作業や行事風景などについての紹介ビデオの作成が検討されており、18年度上期中にも完成が予定されています。

[このページの一番上へ](#)

1-1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している

評点	A
標準項目	○ 利用者が入手できる媒体で、利用者に事業所の情報を提供している
	○ 利用者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
	○ 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○ 利用者の問い合わせや見学(可能な場合)の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

サービスの開始・終了時の対応

講評

サービスの開始にあたり、利用者および家族に対して園長から、契約書、重要事項説明書、サービス利用説明書などに基づいてサービスの内容、基本的ルールなどを詳しく説明しています。利用者は障害の程度に応じて、A、B、Cの3グループに分けられており、複数の新規利用者に対する説明を行う場合には、グループ別に分けて実施しています。利用者が説明内容に同意したことを示す同意書に、本人および立会人の署名捺印がされています。説明の際に確認した利用者や家族の意向は、利用者プロフィール台帳に記録されています。

利用者の支援に必要な個別事情や要望は、個別支援計画書に記録されています。利用開始直後の利用者に対する配慮については、利用者の障害の程度や環境への馴染みの度合いが異なるため、明確には規定されていませんが、各グループごとに職員が注意深く見守りのうえ、1～3ヶ月の間に家族と連絡を取り相談するなど個別に必要な支援を行っています。

利用者が在籍していた学校や福祉事務所から生活記録等の情報を入手して、支援方法や介助方法などを引き継ぎ、入所前の生活を踏まえた支援を行っています。また、利用者が退所する場合には当園の在所時の生活記録等を、本人または家族の同意を得て先方の施設に渡しています。利用者が自宅に戻る場合には、定期的に連絡を取り、いつでも園に来ることができるよう配慮しており、お祭りや行事などに招待していますが、明確な仕組みとして確立されていないので、課題として認識しています。

[このページの一番上へ](#)

2-1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている

評点	A
標準項目	○ サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している
	○ サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている
	○ サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2-2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点	A
標準項目	○ サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
	○ 利用開始直後には、利用者の不安やストレスを軽減するよう配慮している
	○ サービス利用前の生活をふまえた支援をしている
	○ サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価の見方
他年度の評価結果
平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

個別状況の把握・記録

講 評

利用者の障害の程度に応じた3グループ別に個別支援計画書の様式が定められており、利用者の身体状況、生活状況等の情報が記録され、把握されています。また、作業生活支援、健康支援、社会資源利用支援、ADLなどの項目別ごとにニーズや課題が記録されています。記録された情報については、1年に1回個別支援計画書の見直しを行うときに見直すこととしていますが、今後は中間でも見直すことの必要性を認識しています。

個別支援計画書は、入所時および毎年1月末に本人および家族と面談のうえ、その同意を得て決定されています。計画書の原案は事前にグループ毎のケース会議にて策定されます。計画書は1年に1回見直すこととなっていますが、計画通りに進んでいない利用者や容態が変化した利用者については、担当職員がグループリーダーに報告し月2回開催されるグループリーダー会議にて検討のうえ、その決定のもとにケース会議を開催して計画を変更しています。

利用者1人ひとりの日常の作業状況や活動状況およびその変化については、生活記録として常時記録され、ケース記録の一部として個人別ファイルに綴じられています。各種の書類に記録されている情報には一部ダブリがあり、書類を見直して記録内容の整理が必要であると認識しています。利用者に関する情報については、担当グループの職員は記録に目を通しており、共有し活用しています。また、毎日の朝礼やグループミーティング、グループリーダー会議等で利用者に関して周知する必要がある情報を報告し、共有化しています。

[このページの一番上へ](#)

3-1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点	A
標準項目	○ 利用者の身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している
	○ 利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
	○ アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している

評点	A
標準項目	○ 計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている
	○ 計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得ている
	○ 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている
	○ 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点	A
標準項目	○ 利用者一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある
	○ 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点	A	
標準項目	○	計画の内容や個人の記録を、関係する職員すべてが共有し、活用している
	○	申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価の見方
他年度の評価結果
平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

講評

利用者に関する個人情報自治体、福祉施設、医療機関等に照会する場合に備えて、事前に利用者と家族に説明し承諾書を得ています。先方に提出した情報については、提出した物と同様の物を利用者に提示し、渡しています。日常の支援活動のなかで知り得た利用者のプライバシーを保護するために、職員、実習生、ボランティア、出入り業者などに園で定めた個人情報保護規程の内容について説明し、契約書に署名捺印して貰っています。

トイレ使用時は同性介助を徹底するとともにカーテンの二重化などで利用者の羞恥心に配慮した支援を行っています。また、他の人の前で本人の障害やプライバシーを侵害するような言動や行動を行わないよう努力するなど、職員として守るべき事項を「足立あかしあ園禁止事項」「支援・援助の基本原則及び遵守すべき事項」などで明文化して職員に徹底しています。このことは、利用者アンケート結果の「職員は丁寧に接してくれますか」などの設問で高い評価となって表れています。

日常のサービスの実施に当たっては、利用者に対して抑制や強制を禁止しており、本人の意思に基づいた選択の自由を尊重しています。タバコ喫煙等も規制せず、家族と相談しながら出来るだけ本人の意思を尊重した支援を行っています。家庭での虐待については注意して見守っており、万一の場合には福祉事務所と連絡をとって対応する体制を整えています。

[このページの一番上へ](#)

5-1. 利用者のプライバシー保護を徹底している

評点	A
標準項目	○ 利用者について他機関へ照会する際、利用者の承諾を得るようにしている
	○ 日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮している
	○ 利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

5-2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している

評点	A
標準項目	○ 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している（利用者が「ノー」と言える機会を設けている）
	○ 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している
	○ 虐待被害にあった利用者がある場合には、必要に応じて関係機関と連携しながら対応する体制を整えている
	○ 利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報



事業所業務の標準化

講 評

園として提供しているそれぞれのサービスの基本事項や手順等について、44項目のマニュアルとして明文化されています。内容については、緊急対応マニュアルなど必要に応じて図やイラストで共通理解が得られるよう工夫されています。日常提供しているサービスや支援の内容が、定められた基本事項や手順に沿っていないと判断される場合は、各分掌業務担当職員からの申し出により検討会を開催し、都度マニュアルを訂正しています。今年度中には、パソコンからファイルを開いて職員が内容を自由に見ることが出来るよう改善が予定されています。

提供しているサービスの基本事項や手順等の改変や見直しの基準については、特に明文化された規定はありませんが、園運営委員会や職員会議、グループリーダー会議等で議論され、その結果に基づいて随時見直しを行っています。また、保護者会も頻繁に開催されており、意見や提案を聴取し、反映するよう努めています。

園運営委員会やグループリーダー会議等で全体の状況を把握し、朝礼や職員会議等で職員全員に周知してサービスの一定水準を確保しています。外部研修だけでなく内部研修も毎月開催されており、職員が新しい知識や技術を習得することが出来る機会が提供されています。職員全員が救命救急の資格を得ており、緊急時対応の研修も受講するなど、利用者の安全確保に万全を期しています。職員間の人間関係が良好で、上司がOJTを通じて指導・助言を行い、また誰にでも相談できる明るい雰囲気確保されています。

[このページの一番上へ](#)

6-1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点	A
標準項目	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点	A
標準項目	提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点	A
標準項目	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している 職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている
A+の取り組み	

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団
【問合せ】メールアドレス:fukushiit@fukushizaidan.jp 電話:03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報



サービスの実施

1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している

講 評

利用者や家族の意向も踏まえて作成された個別支援計画に準じて日々の支援に取り組んでいます。利用者の特性からコミュニケーションが困難な方、例えば、会話が難しい方には手話もしくは文字盤で会話をする他、それも困難な場合は日常の生活の中での表情等で読み取る工夫がなされています。

自立に向けての支援として、パワーポイントを使用し自立に必要な説明会(仕事を通しての人間関係構築の仕方・コミュニケーションの取り方・ヘルパーやガイドヘルパー要請の方法・車椅子や福祉装具業者との連絡等々)を行う他、利用者から事例をあげてもらい学習会を開催する等学ぶ機会を積極的に設けています。

利用者との面接の機会や日々の活動の中で、他の利用者との摩擦等があった場合、原因や解決策について必要に応じて個別に対人関係のアドバイスをを行い、作業や活動が円滑に行えるよう支援しています。

評点	A
標準項目	○ 個別の支援計画に基づいて支援を行っている
	○ 利用者の特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している
	○ 自立生活に必要なさまざまな情報を提供している
	○ 必要に応じて対人関係のアドバイス等を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている

講 評

当園では障害の程度によりグループ分けをしており、製袋・箱折り・ミシン・藍染・ブライダル製品等々の授産活動メニューを用意しています。利用者から希望を聞いた上で授産メニューを自由に選択できるようになっている他、一定期間継続して行えるように計画されています。

現在、他の入所施設ができあがるまでの期間限定で定員を増やして利用者を受け入れています。その結果、園内の環境としては、空間がやや狭く利用者からも使いづらいとの声があがっています。整理整頓を心掛けると共に、少しでも空間を広くするためと、利用者が活動しやすいようにと、2階の更衣室にカーペットを入れて休憩室を作るなど環境を整備しています。

利用者の労働力に見合った工賃に連動させるほか、頑張ったときの評価をして意欲が湧く仕組みを作っており、利用者が目標を達成するようモチベーションを高められる環境を作っています。一方で、利用者調査からは空間が狭く活動しにくいという声が多かったことも否めず、更なる改善を要するところと思われます。また、就労可能な利用者には就労に向けた具体的な支援ができる体制を整備していますが、重度な障害を持つ人が多く一般就労には至っておりません。

評点	A
標準項目	○ 授産活動のメニュー等は、利用者の希望や特性により選択できるようにしている
	○ 利用者が活動しやすい環境を整えている
	○ 利用者一人ひとりのニーズに応じたその人らしさが発揮できる活動を用意している
	○ 工賃は利用者との合意に基づいて支給している
	○ 利用者の働く意欲を盛り立てる取り組みを行っている
	○ 就労可能な利用者には、就労に向けた相談や具体的な支援を行っている
A+の取り組み	

3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している

講 評

利用者に対して個別に聞くほか、職員からも希望のメニューを毎月聞いて、1年間を通じて同じメニューが発生しないよう、バラエティに富んだ食事を用意しています。利用者の障害や嚥下、嫌いなもの、アレルギー等に十分注意を払ったメニューとなっています。利用者と職員のアンケート調査からもおいしいという回答が多く、満足度が高いことがうかがえます。行事食にも力を入れていることで利用者の食事に対する期待も大きくなっています。

食事はグループ毎に時間をずらして行なっています。職員が利用者の間に入り、刻みが必要な利用者へは各テーブルに置かれたキッチン用のはさみを使用したり、介助が必要な利用者へは本人の意思を確認しながら支援しています。冬場の食堂の入り口付近の暖房について改善策が考えられています。

利用者は他の利用者やグループ以外の職員等とも楽しく会話しながら食事をしています。現在、BGM等は流していませんが、会話に差し支えない範囲での音楽があっても良いと感じました。

評点	A	
標準項目		利用者の希望や職員の意見を反映し、バラエティーに富んだ飽きのこない食事を提供している
		利用者の状態やペースに合わせて食事がとれるよう、必要な支援を行っている
		食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている

講 評

障害の程度によりグループ分けしているため、活動のペースや内容を利用者に合わせて行うことが可能です。職員も利用者の意向を最優先するよう努めています。登園時の様子や、作業準備をしていく会話の中で利用者の状態を把握し、その日の利用者への支援体制を柔軟に変えています。

利用者にはできるだけ自分でできることは自分ですよう声かけ等指導をしています。万がーできないことがある場合は、自分から手を貸して欲しいと依頼するように促しています。利用者自身が他の人とのコミュニケーションの力をつけることにも有効であると考えて取り組んでいます。

評点	A	
標準項目		利用者の状態やペースに合わせて、日常生活上の必要な支援を行っている
		必要に応じて、身の回りのことは自分で行えるよう働きかけている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

講 評

利用者の健康に関しては看護師が中心となり他の職員との連携を図って支援する仕組みができています。利用者の状況によっては必要に応じて通院に同行したり、掛かり付けの主治医との連絡や、家族からの個別の相談にのる等の支援をしています。また、毎月の体重測定や健康状態のチェックの他、定期的な健康診断を実施しています。

利用者の命を預かっているという共通理解・共通認識のもと、利用者の急な体調変化にも柔軟に対応できるよう緊急時・救急時マニュアルが完備されています。看護師が不在中であっても他の職員がマニュアルに沿って速やかに対応できる体制を整えています。

服薬の管理については、原則として本人が服用することを基本としています。飲んだか飲まないかのチェックが不十分であるとして、早期に改善を図る予定となっています。

評点	A
標準項目	健康状態に関して、利用者の相談に応じ、必要に応じて利用者や家族に説明をしている
	必要に応じて、通院や服薬等に対する助言や支援を行っている
	服薬管理は誤りがないようチェック体制を整えている
	利用者の体調変化（発作等の急変を含む）に速やかに対応できる体制を整えている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

講 評

利用者による旅行委員会が自ら企画立案して、グループ毎の旅行や外出を実施しています。その他にも、各グループの利用者の代表と職員で行事委員会・ふれあいフェスティバル委員会等を構成し、家族や職員も参加できる様々な行事を実施しています。

園内での生活に関する約束や決まりごとについては、職員が補佐しながらできるだけ利用者が決めるように支援しています。利用者の自治会等がないこと、利用者全員が意見交換できる状況でないこと等を踏まえて、職員が利用者の個別の意見をできる限り吸い上げるよう努めています。

園内は委託の清掃作業員が清掃をしており、常に清潔に保たれています。トイレ内は臭気を感じられず、広くゆったりとしているため、車椅子でも余裕をもつことができる環境となっています。室内の環境整備はできるだけ利用者が居心地の良い場所となるように努めていますが、まだ十分とはいえ今後さらに工夫・改善が必要と考えています。

評点	A
標準項目	行事やレクリエーションのプログラムは、利用者の特性や嗜好を考慮し、多様な体験ができるようにしている
	室内は、採光、換気、清潔性など居心地のよい環境となるようにしている
	日常の生活に関するきまりごとについては、利用者等の意見を参考にして見直しをしている
	利用者同士が意見を言う機会があり、その意見等を施設運営に反映できるようしくみを整えている
	行事やイベントの企画・準備は利用者も参加して行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

講 評

家族等との交流や連携に際しては、利用者本人の意向を十分尊重した対応を取っています。日々の利用者の様子は連絡帳を通して家族等に伝えられています。その他、年4回の全体保護者会、グループ別保護者会の他、暑気払いや忘年会等を通じて積極的に家族との交流を図っています。家族等の参観は随時可能ですが、保護者会で来園した際には、利用者の様子を見てもらうよう特に促しています。

家族との交流の手段としては、電話・広報誌「いっばいっば」の定期的(隔月)発行・家庭訪問等を実施しています。家庭訪問では、必要に応じて園長が担当職員に同行して、今後の計画等についてもゆっくりと時間をかけて話合っています。

評点	A
標準項目	家族等との交流・連携に際して、利用者本人の意思を確認し、その意向に基づいた対応をしている
	利用者の日常の様子や施設の現況を家族等へ知らせる手段を整えている
	必要に応じて、家族等への情報提供や支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

講 評

障害者支援の専門機関である足立区障害福祉センター「あしすと」から様々な情報を得て、トランポリンや音楽療法等の情報を、利用者やその家族に提供しています。

地域の小中学校の音楽会・発表会・展示会等の行事へ積極的に参加しています。これらの学校とは交流が深く、密接な関係が築けているため、学校側が園の事情に理解を示し、プログラムを園に合わせて作成してくれるなどしています。

評点	A	
標準項目		地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している
		必要に応じて、利用者が地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)